



青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323
URL http://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/平成26年12月25日



津軽海峡ブランド博



関係者らによるテープカット

雪による建物被害の多くは「火災保険」での対応が可能となるが、屋根からの落雪が原因で人や自動車等へ被害を負わせてしまった場合は火災保険では対応できず、「施設賠償責任保険」での対応となるため、未加入の方は、ぜひご検討いただきたい。
なお、雪害に対する保険は突発的な事故に対応するものであって、屋根の積雪を放置



屋根からの落雪による被害

会期中は、ねぶた囃子や荒馬踊り、ベリーダンス、スコップ三味線などのステージイベントに加え、今回からはお買い物スタンプラリー抽選会も行われ、来場者を楽しませている。
今年も12月から大雪に見舞われ、本格的な雪のシーズンに突入した。例年、問屋町内でも建物等の雪災事故が発生しており、事前の対策をお願いしている。
雪に起因した事故等については保険で補償されない場合もあるため、日頃からこまめに雪下ろしや排雪作業を実施していただきたい。

雪害への備え ～保険への加入はお済みですか？～

今年も12月から大雪に見舞われ、本格的な雪のシーズンに突入した。例年、問屋町内でも建物等の雪災事故が発生しており、事前の対策をお願いしている。
雪に起因した事故等については保険で補償されない場合もあるため、日頃からこまめに雪下ろしや排雪作業を実施していただきたい。

3万人もの来場者を集め 津軽海峡ブランド博が盛大に開催

11月21日(金)～23日(日)の3日間、問屋町にある青森産業会館において2014津軽海峡ブランド博が開催された。
今回は2回目となる同イベントは、北海道新幹線開業(平成27年度末予定)が間近に迫った今、津軽海峡を挟んだ青函交流を促進し、その連携による相乗効果を高めることを目的に開催。青森産業会館を運営する(一財)青森市産業振興財団、青函の自治体や商工団体、当組合等からなる実行委員会が主催し、青函から100もの団体が出展し展示即売会を実施。「津軽海峡ブランド」の確立に向け、物産品の販路拡大や広域圏PR活動を推進する。
1日目は一般非公開で、県内外のデパートやスーパー等のバイヤーを招き、個別商談会を開催。都市圏から参加したバイヤーは、普段あまり目にするのではない青函の珍しい加工食品等前に、出展者に熱心に質問するなど、情報収集していた。
2日目は一般にも開放され、オープニングセレモニーが行われた。実行委員長である青森市産業振興財団の細井理事長による挨拶の後、佐々木青森県副知事及び鹿内青森市長から祝辞が述べられ、関係者らによるテープカットで開会。2日間で3万人もの来場者を集め、各ブース前は商品を求める人でごった返していた。

あおもり市民健康アップフォーラムで事例発表

11月20日(木)、リンクスティーションホール青森において、青森市主催の「あおもり市民健康アップフォーラム」が開催され、当組合の小田切業務課長が事例発表を行った。
青森市では、市民の寿命の改善と健康アップを図ることを目指し、元気都市あおもり健康アップ推進会議を設置し、市民総ぐるみの健康づくり運動を推進している。健康づくりの実践を分かち合い、健康づくり運動をさらに広げていくため「あおもり市民健康アップフォーラム」を開催。同フォーラムでは、弘前大学大学院医学研究科長の中路重之氏による講演のほか、健康づくりに積極的に取り組んでいる市内の各団体が事例発表を行った。
当組合も、集団健康診断の実施や周辺企業への受診呼びかけ、組合員昼食会や掲示板等での啓蒙活動、体力測定やハイキングなどの健康づくり活動の実施状況を紹介した。



健康アップフォーラムで事例発表

今年度の問屋町内除排雪 作業の委託業者など承認 第8回理事会

11月26日(水)に第8回理事会が開かれ、審議の結果、全て原案どおり承認された。また、事務局からは問屋町緑のボランティア隊の活動や、平成26年度決算予想について報告を行った。

主な案件審議は次のとおり。
案件一：環境対策委員会からの意見について

問屋町内除排雪作業の委託業者や問屋町美化・緑化カレンダーの作成、合同清掃の表彰が承認された。
案件二：賃貸組合員の脱退について
案件三：組合員跡地買取り資金の借換について

団地組合女性職員を対象に 研修会を開催

県内の卸団地で組織される青森県流通団地連絡協議会では、女性職員を対象とした団地組合女子職員研修会を11月7日(金)にホテルグランメル山海荘で開催。県内をはじめ、東北の各卸団地から11名が参加した。

研修会ではホテルグランメル山海荘の女将であり会長の杉澤むつ子氏を講師に招き「女子力+α向上セミナー」をテーマに講演を行った。杉澤会長は「利益を先に考えるのではなく、お客様の笑顔のために運営することにより、いろいろなことを学んだ。旅館の役割は地域の人々の社交場、県外の人々には地域の



女性職員研修会

悟を持って仕事をしなくてはいけない。子供にとって母親の代用はきかないため、何かあった時はみんなで仕事の穴を埋められるような環境作りが必要である」とまとめた。

忘年会で一年を振り返る 青森問屋町経営同友会

青森問屋町経営同友会の忘年会が11月20日(木)に青森国際ホテルで開催された。忘年会の恒例の余興は、みちのくコカ・コーラボトリング(株)から提供を受けた瓶入りコーラ(190ml)早飲み大会を実施。4・99秒という文化と歴史を少しでも知ってもらいたいと思っている」と話した。



同友会 忘年会

インフルエンザ集団予防接種 2日間で515名が受診

今年で4回目となるインフルエンザ集団予防接種が11月13日(木)・20日(木)の2日間開催され、組合員及び近隣企業の従業員を合わせ、515名が受診した。

同事業は医療法人成田あつしクリニックの協力を得て平成23年からスタート。当初は67名であった受診者数は、受診の気軽さから年々増加。昨年からは受診料が減額されたことにより300名を軽く超え、今年は当初の8倍近くの515名が受診した。



インフルエンザ集団予防接種

ねぶたについて学ぶ 青友会第1回親睦交流会

問屋町支店長・所長連絡会(青友会)の第1回親睦交流会が11月26日(水)、ホテル青森で開催され、25名が参加した。

交流会の前に行われた特別講演会では、ねぶた師の手塚茂樹氏を講師に招いて「青森ねぶたのはなし」をテーマとした講演が行われた。手塚氏は16歳のころからねぶた小屋に通い、23年の下積みを経て、今年の夏、39歳にして初めて大型ねぶたの制作を任せられ、ねぶた師としてのデビューを飾った。



講演する手塚氏


今年の全活動が終了 問屋町緑のボランティア隊

11月2日(日)、今年度最後の問屋町緑のボランティア隊の活動が行われ、第二問屋町の街路樹下枝刈り作業を実施した。



問屋町緑のボランティア隊

草作業を進め、延べ107名の協力のもと、今回の作業をもって今年度の作業を無事終えることができた。今回は問屋町隣接企業の(株)ユアテック青森支社の従業員が参加するなど年々活動の輪が広がり、隊員数が増えている緑のボランティア隊。活動の幅を更に広げるためにも引き続き隊員増強を進める。

 宇部三菱セメント(株)特約店

株式会社 青森カイハツセメント

本社 青森市第二問屋町三丁目6番12号
電話(017)739-2436(代)

八戸支店 弘前営業所
五所川原営業所 むつ営業所

豊かな住宅環境と快適な暮らしを追求します

藤村機器株式会社

青森支店 TEL 017-739-4551
FAX 017-739-4145

弘前・八戸・大館・仙台・秋田

業務報告

…主要事項…

- 11日▽青森共同計算センター 定例取締役会
- ▽青森県納税貯蓄組合第44回定例会
- 12日▽第3回防犯カメラ設置検討小委員会
- ▽県地域づくりネットワーク推進協議会20周年記念フォーラム
- 13日▽国内経済視察会 (15日)
 - ▽インフルエンザ集団予防接種(1日目)
 - ▽大星神社新嘗祭
 - 16日▽金融審査会
 - 17日▽北日本流通ヴァン(株)第3回取締役会
 - ▽青森県流通団地連絡協議会理事會・通常総会
 - 18日▽県経営者協会第3回理事會・第1回常任幹事會
 - 21日▽第38回問屋町ボウリング大会
 - ▽国内経済視察会反省會
 - ▽津軽海峡ブランド博
 - 26日▽第8回理事會
 - ▽青森問屋町配送(株)第3回取締役会
 - ▽問屋町支店長・所長連 絡會第1回親睦交流會
 - 28日▽全国卸商業団地協同組合連合會東北ブロック會議
 - 29日▽第2回稅務研修會
 - ▽インフルエンザ集団予防接種(2日目)
 - ▽あおもり市民健康アップフォーラム
 - ▽青森問屋町経営同友會忘年会
 - 20日▽第2回稅務研修會
 - ▽あおもり市民健康アップフォーラム
 - ▽青森問屋町経営同友會忘年会
 - 21日▽第8回理事會
 - ▽青森問屋町配送(株)第3回取締役会
 - ▽問屋町支店長・所長連 絡會第1回親睦交流會
 - 27日▽給与実務の基礎の基礎・労基法、社保編②
 - 20日▽営業スキル研修・提案基礎編②
 - 25日▽給与実務の基礎の基礎・労基法、社保編①
 - 27日▽給与実務の基礎の基礎・労基法、社保編②
 - 5日▽商業簿記3級取得講座⑩
 - 6日▽ビジネススマナー研修・言葉づかい、電話応対編
 - 11日▽これから学ぶ会計経理・試算表編①
 - 12日▽商業簿記3級取得講座⑪
 - 13日▽これから学ぶ会計経理・試算表編②
 - 14日▽会社を元気にするビジネス会計
 - 18日▽営業スキル研修・提案基礎編①
 - 20日▽営業スキル研修・提案基礎編②
 - 25日▽給与実務の基礎の基礎・労基法、社保編①
 - 27日▽給与実務の基礎の基礎・労基法、社保編②
- 11日▽青森共同計算センター 定例取締役会
- 19日▽第2回稅務研修會
- 20日▽インフルエンザ集団予防接種(2日目)
- ▽あおもり市民健康アップフォーラム
- ▽青森問屋町経営同友會忘年会
- 21日▽第38回問屋町ボウリング大会
- ▽国内経済視察会反省會
- ▽津軽海峡ブランド博
- 26日▽第8回理事會
- ▽青森問屋町配送(株)第3回取締役会
- ▽問屋町支店長・所長連 絡會第1回親睦交流會
- 28日▽全国卸商業団地協同組合連合會東北ブロック會議
- 29日▽第2回稅務研修會
- ▽インフルエンザ集団予防接種(2日目)
- ▽あおもり市民健康アップフォーラム
- ▽青森問屋町経営同友會忘年会
- 20日▽第2回稅務研修會
- ▽あおもり市民健康アップフォーラム
- ▽青森問屋町経営同友會忘年会
- 21日▽第8回理事會
- ▽青森問屋町配送(株)第3回取締役会
- ▽問屋町支店長・所長連 絡會第1回親睦交流會
- 27日▽給与実務の基礎の基礎・労基法、社保編②
- 20日▽営業スキル研修・提案基礎編②
- 25日▽給与実務の基礎の基礎・労基法、社保編①
- 27日▽給与実務の基礎の基礎・労基法、社保編②
- 5日▽商業簿記3級取得講座⑩
- 6日▽ビジネススマナー研修・言葉づかい、電話応対編
- 11日▽これから学ぶ会計経理・試算表編①
- 12日▽商業簿記3級取得講座⑪
- 13日▽これから学ぶ会計経理・試算表編②
- 14日▽会社を元気にするビジネス会計
- 18日▽営業スキル研修・提案基礎編①
- 20日▽営業スキル研修・提案基礎編②
- 25日▽給与実務の基礎の基礎・労基法、社保編①
- 27日▽給与実務の基礎の基礎・労基法、社保編②

問屋町 ビジネススクール

経済雑感 第六十四回

(公財) 21あおもり産業総合支援センター
理事長 今 喜典

前号に引き続き、(公財) 21あおもり産業総合支援センターの今理事長による経済雑感をお送りする。

近代的大工業がほとんど存在しなかった戦後復興期から、県内製造業は大きく変わった。1964年に八戸が新産都市指定をうけ、その後は停滞の時期こそ何度かあったものの、基調として拡大続けた。いまでは八戸地域と津軽地域は、たとえば岩手県の北上川流域、秋田県の本荘・由利地



(公財) 21あおもり産業総合支援センター 理事長 今 喜典 氏

域、山形県の米沢地域などとなり、東北地方の工業集積拠点として認められるようになった。

このプロセスで、県外からの進出企業の果たした役割は大きい。資本、技術が導入され、所得と雇用を生み出した。関連する協力企業のネットワークも広がった。もちろん、グローバル化、競争の激化、ITバブルの崩壊、リーマンショック、東日本大震災など、ひき続く大波のなかで、縮小、撤退というきびしい結果になったケースもあるが、地域に定着した進出企業も多

い。注目すべきことは、これらと並んで県内地元企業の内発的な成長の動きが、着実に進んでいることである。最近、集中的に県内各地の製造業の企業を訪問して、その現状を知る機会を得た。地域企業が独自技術の開発や地域資源の活用で県外や国外に販路を

見出している事例など、認識を新たにした点も多い。すぐれた経営者の努力と工夫が印象的で、経営力の水準の高さを実感させられた。

製造業は市場を県外、国外に拡大できるため、地域の所得と雇用の成長につながる。

また技術という知的資産にも

とづくので、模倣による競争を避けて高い付加価値を維持しやすい。人口減少という縮小要因が過酷に作用している地域経済の現状を克服するためには、地域の製造業の内発的な発展は不可欠な条件といえる。

「必ずしも楽観はできない」という戦後復興期の「青森県経済報告書」のコメントは、現在の県内経済状況にもあてはまる。しかし、事実として日本経済、青森県経済はその後、成長軌道を歩んだのである。地域企業の内発的な発展を支援することに よって、同じように、成長の道を回復する努力を続けなければならない。

(完)

みちのくコカ・コーラボトリング株式会社

●キズ、ヨコレに100倍強い =スーパーハードコート

●チリ、ホコリに強い =帯電防止機能

●紫外線に3倍強い =UVガード付き

●(DVD-R/+R)

TDK代理店

オリエント商会株式会社

青森市第二問屋町三丁目6-8 電話 739-0163(代)

入 学 生 募 集 !

—地域社会を担う即戦力の情報処理技術者を育成します—

職業訓練法人 青森情報処理開発財団

あおもりコンピュータ・カレッジ

青森市荒川字柴田129 TEL 017-739-1311

URL : http://www.acc.ac.jp

総合断熱資材・空調部材

Q (株)オー・ケー・アイ

〒030-0131

青森市問屋町二丁目20-7

TEL (017) 764-1105

FAX (017) 728-3371

新大阪センシティイーなど視察

国内経済視察会

組合では県外の卸団地の活動状況やまちづくりなどを視察する国内経済視察会を11月15日から17日までの3日間行い、西理事長を団長に18名が参加した。

今回視察したのは協同組合新大阪センシティイー。同組合は、昭和39年に設立されたビル方式の繊維卸団地で、設立時は3館編成の施設(敷地面積約1万6百坪)に360もの組合員が加入した。

平成以降は倒産等による組合員の減少で空き店舗問題が常態化。平成19年に1館を建替えし、テナントとして賃貸(約3千4百坪)、3館体制から2館体制へ移行した。その

団地企業訪問

今回は、今年8月に新規組合員となった有有限会社ベストスマイル青森の大里社長にお話を伺った。

同氏は、病院で柔道整復師として3年勤務した後、平成19年7月におおさと接骨院を開業。平成22年5月に株式会社ケアスマイル青森を設立し、青森市浪館にリハビリ特化型短時間デイサービス施設スマイルをオープンさせた。

「平成18年の診療報酬改定により、病院でのリハビリテーション期間が制限されたことをきっかけにリハビリ特化型のデイサービスを始めました。疾患により生じた移動・

後も組合員の倒産等による空き店舗増加に歯止めがからず、後継者問題、施設の老朽化、組合財政の問題から残り2館も解体。敷地の大部分(約6千5百坪)を売却及び賃貸し、残りの部分(約7百坪)に新たな組合施設を建設するなど組合の再整備に取り組んだ。平成25年11月にリニューアルオープンを果たし、現在の組合員数は28社にまで減少した。

同組合の吉木理事長は再整備事業を振り返って「最大のポイントは組合員の納得性確保。建替えは人間関係そのものだった。一律対応の徹底、透明性の確保、繰り返し説明することを心掛けた」と話した。

そのほか一行は、高野山やあべのハルカス等を視察した。

身の回りの動作・コミュニケーションなどの体の不具合を改善させるべく、当社のトレーナーが利用者様ひとりひとりに適したトレーニングメニューを組み、運動器機能向上のサポートをします。生活スタイルに合わせて、午前・午後部の時間帯選択制です。利用者の生活スタイルに合わせてご利用いただけます」と話す。



青森ベストスマイル 代表取締役 大里 洋志氏

業界の現状について尋ねると、「これから団塊の世代が控えている中、病院ではベット数・入院日数が減少し、高齢者の生活する住まい等が厳しい状態となつていきます。入院日数が減少すると、今まで医療を必要として



国内経済視察会

北斗七星巡りで商売繁盛祈願

問屋町支店長・所長連絡会

昨年に引き続き、問屋町支店長・所長連絡会(青友会)主催の北斗七星巡りが11月1日(土)に開催され、同会会員ほか13名が参加した。

北斗七星巡りは、坂上田村麻呂により建立されたといわ

れる北斗七星の形で配された問屋町の大星神社をはじめとする津軽地方の7つの神社を巡礼するもの。商売繁盛に御利益があるといわれている。当日は大星神社を11時11分にスタート。参加者たちは7つの神社を巡り、商売繁盛を願い、神妙な面持ちで真摯に祈りを捧げた。



北斗七星巡り

入院していた患者さんが病院で治療や看護を受けられなくなるため、これからは在宅でどのように医療提供していくのが大切となってきます。そこで当社では、問屋町の新事務所を訪問看護ステーションをスタートさせました。看護師などが利用者様の生活の場へ訪問し、健康状態の観察、日常生活の看護、在宅リハビリテーション等療養生活を支援します。これからも当社では「利用者様の笑顔のために」の理念の元、地域に愛される会社を目指します」と新たな取り組みと目標についても語ってくれた。

問屋町の印象については「問屋町の土地は、これまで祖父・父が守ってきたところでもありますが、次は自分が頑張らなくてはいけないという想いが強いです。祖父から父、次は自分がその意思を受け継いで今までの感謝の気持ちと共に、この場所を大事にしていきたいと思っています」と力強い。プライベートでは総合格闘技修斗のバンタム級でプロとしてリングに上がり、世界10位の実力を持つ同氏。「これからもチャンピオンを目指して頑張ります」と仕事以外の目標も高い。

「利用者様だけではなくスタッフも笑顔に。常に感謝を忘れずに」を心掛けていると笑顔で締めくくった。(32歳) (藤本)

第二回津軽海峡ブランド博が盛会展に終わりました。昨年から予算が減ったにもかかわらず、入場者は昨年比3割アップとなり来年度の開催にも弾みがつきそうです。組合の今回の視察会は協同大阪センシティイーでした。大きな変更も含んだ2次の再整備計画は尋常の域を超えた難事業であったと拝察しました。同組合の吉木理事長のリーダー力・推進力には心からリスペクトを覚えました。転話題。今回は組合ブックカフェにあった挑発的な題の新刊「バカが多いのには理由がある」を紹介しました。著者は小説「マネーロンダリング」(2002年)の橋本(たかはな・あきら)▼本書によると「バカ」とはフリスト思考しかできない人のことであり、賢い人とは訓練によってスロー思考が身につけている人だそうです▼行動経済学者ダニエル・カーネマンによると私たちは「速い思考」と「遅い思考」を使い分けているとのこと▼「速い思考」は生理的・心理的に負荷が低いので快適ですが、「遅い思考」は高い負荷がかかります▼そこで人は無意識に次の方法で「遅い思考」を回避します。①「遅い思考」が必要な問題を無視する②あらゆる問題を「速い思考」で解決しようとする▼「速い思考」は原因と結果が対になった因果論的思考法でもあります▼世の中には「遅い思考」を徹底して忌避すると、1%の「遅い思考」ができる人がいるそうです

編集後記

ご自宅での看護・介護ご相談承ります
訪問看護 リハビリステーション スマイル
お問い合わせは TEL017-738-8111 FAX017-738-8113
お問合せ・お申込みはこちらまで
所在地 〒030-0131 青森市問屋町2-14-6
営業時間 月～金曜日 8:00～17:00 土・日曜日 (祝日は営業いたしません)
ホームページ http://kango-smile.com/ メール caresmile.kango@gmail.com

ブライダルコスチューム
Your New Love Story Starts Now
株式会社 青森のセンター
〒030-0113 青森市第二問屋町4-1-3 Tel. 017-729-2222